

# <矢田野小学校いじめ防止基本方針>

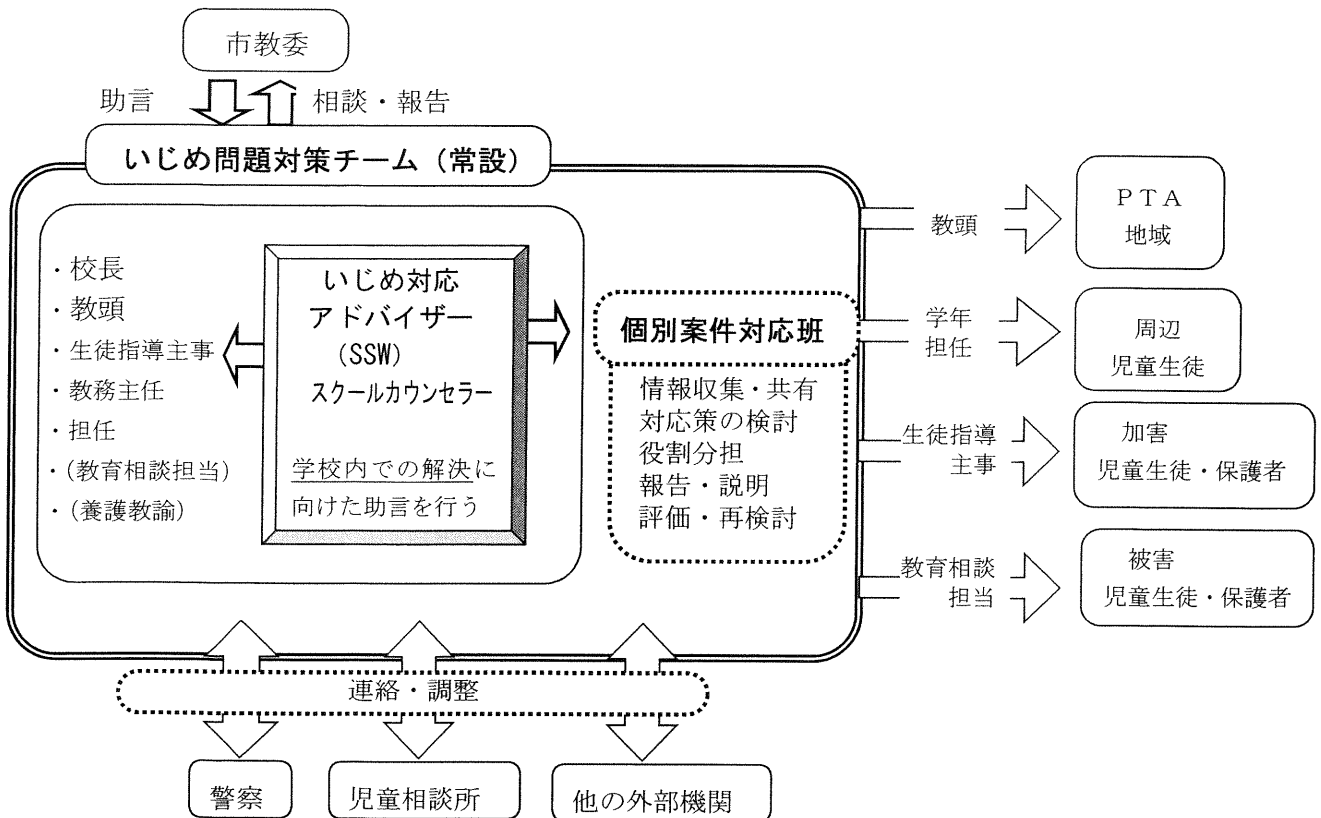
本方針は、人権尊重の理念に基づき、本校に通う全ての児童が充実した学校生活を送ることができるよう、「いじめ問題」を根絶することを目的に策定するものである。

## 1. いじめ防止に向けての基本姿勢

「いじめは、どの学校・どの学級・どの子どもでも起こりうるものであり、いじめ問題に全く無関係ですむ児童はいない。」という基本認識にたち、いじめの兆候や発生を見逃さず、学校が迅速かつ組織的に対応するために「いじめ」に対する以下の5つのポイントを全教職員で共有する。

- ① いじめを許さない、見過ごさない雰囲気づくりに努める。
- ② 児童一人一人の自己有用感を高め、自尊感情を育む教育活動を推進する。
- ③ 生徒指導の3機能を活かした授業実践に努める。
- ④ いじめの早期解決のために、当該児童の安全を保障するとともに、学校内だけでなく各種団体や専門家と協力をして、解決にあたる。
- ⑤ 学校と家庭が協力して、事前事後指導にあたる。

## 2. いじめ問題対策チームの構成員と対策チームの役割



### 3. いじめの未然防止に関する具体的方策について

- ① 児童一人一人が認められ、お互いに相手を思いやる雰囲気づくりに学校全体で取り組む。また、教師一人一人が生徒指導の3機能を活かした授業を心がけ、児童に基礎・基本の定着を図るとともに学習に対する達成感・成就感を育て、自己有用感を味わい自尊感情を育むことができるように努める。
- ② 学級活動の時間には構成的グループエンカウンターを取り入れ、共感的人間関係を育むことができるように努める。
- ③ 道徳の時間には命の大切さについて年間計画に沿って指導を行う。また、「いじめは絶対に許されないことである」という認識を児童がもつように、教育活動全体を通して指導する。そして、見て見ぬふりをすることも「傍観者」として、いじめに加担していることを伝え、考えさせる。
- ④ 縦割り活動をすすめ、異学年と交流することで高学年の自己有用感を高め、低学年を思いやる心、低学年の高学年を敬う心を育てる。
- ⑤ あいさつ運動、思いやり集会や児童会の取り組みを通して、誰もがみんなに認められ、つながっていることを実感し、大切な存在であることに気づかせる。

### 4. いじめの早期発見・早期解決に向けて

- ① いじめの早期発見のために、以下のような様々な手段を講じる。
  - ・全ての教員が児童の様子を見守り、日常的な観察を丁寧に行うことにより、児童の小さな変化を見逃さないように情報を交換し合う。
  - ・気になる児童がいる場合には学年間や生徒指導部会等、児童理解の会の場で気付いたことを共有し、より大勢の目で当該児童を見守る。
  - ・様子に変化が見られる場合には、教師が積極的に働きかけを行い児童に安心感をもたせるとともに問題の有無を確かめる。解決すべき問題がある場合には、スクールカウンセラー等も活用し、当該児童から悩み等を聞き、問題の早期解決を図る。
  - ・「学校は楽しいですか」という生活アンケートを定期的に行い、児童の悩みの状況や人間関係を把握する。
  - ・6月と10月、2月の年3回、「いじめアンケート」を行う。その結果をもとに面談し、児童の状況を細かく把握する。
- ② いじめの早期解決のために、全職員が一致団結して問題の解決にあたる。
  - ・いじめを発見したときには、学級担任だけで抱え込むことなく、学校長以下全ての教員が対応を協議し、的確な役割分担をしていじめ問題の解決にあたる。
  - ・情報収集を綿密に行い、事実確認をした上で、いじめられている児童の身の安全を最優先に考え、いじめている側の児童に対しては毅然とした態度で指導にあたる。
  - ・学校内だけでなく各種団体や専門家と協力をして解決にあたる。
  - ・いじめられている児童の心の傷を癒すために、スクールカウンセラーや養護教諭と連携を取りながら、指導を行っていく。

5. いじめに対する措置

- ・いじめに関する情報を把握した場合には、特定の教員で抱えこまず、いじめ問題対策チームで協議する。
- ・在籍する児童生徒がいじめを受けていると思われるときは、速やかに概要を市教委に報告する。
- ・いじめの事実を確認した場合には、徹底して被害児童を守る。加害児童に対しては、当該児童の成長を旨として、教育的配慮の下、毅然とした態度で指導する。
- ・保護者に事実関係を伝え、いじめを受けた児童とその保護者に対する支援や、いじめを行った児童の保護者に対する助言を行う。また、事実確認により判明したいじめ事案に関する情報を適切に提供する。

6. 年間計画

	生活アンケート	いじめアンケート	児童理解の会
4月	↓ ・気になる児童 前担任から引き継ぎ	↓ ・気になる児童 前担任から引き継ぎ	実施 共通理解
5月	実施 様子観察	↓ 様子観察	実施 支援計画
6月	↓ ・気になる児童 個別面談	実施	実施 共通理解
7月	↓ 不安解消 実施 様子観察	↓ ・気になる児童 個別面談	↓ 支援 ←
8月	↓ 前期の取り組み を評価→2学期 以降に修正	↓ 不安解消 様子観察	実施 共通理解 支援計画
9月	↓ 実施	↓	↓
10月	↓ ・気になる児童	実施	← 支援
11月	↓ 個別面談 不安解消	↓ ・気になる児童 個別面談	↓
12月	↓ 様子観察 実施	↓ 不安解消 様子観察	実施 共通理解 支援計画
1月	↓ 2学期の取り組み を評価・検証	↓	← 支援
2月	↓ →3学期以降に 活かす	実施	実施 共通理解 支援計画
3月	↓ 今年度の取り組みをま とめ次年度に引き継ぐ	↓ ・気になる児童 個別面談, 不安解消, 様子観察	実施 引き継ぎ